

公示番号：170455

国名：ラオス

担当部署：地球環境部 水資源グループ水資源第一チーム

案件名：水道公社事業管理能力向上プロジェクトフェーズ2 詳細計画策定調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2017年8月中旬から2017年10月上旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.47M/M、合計 0.97M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	14日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：7月26日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

提出方法等詳細については JICA ホームページ(ホーム>JICA について>調達情報>公告・公示情報/結果>コンサルタント等契約案件公示(業務実施契約(単独型))>業務実施契約(単独型)公示にかかる応募手続き)

(<https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/procedure.pdf>) をご覧ください。なお、

JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルは JICA で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2017年8月8日(火)までに個別に通知します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	ラオス／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

(1) 参加資格のない社等：

特になし。但し、本調査を受注した法人及び個人（補強所属元企業含む）は、当該技術協力プロジェクト等事業本体への応募・参加を認めない。

(2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

ラオス政府は、1999年に発令された首相令 37 において、2020年までに都市部に居住する人口の8割に対して24時間安全な水を供給することを目標に掲げているが、2015年の都市における水道普及率は64%¹にとどまっている。ラオスの上水道事業は、公共事業運輸省（MPWT）水道局（DWS）が上水道事業の運営管理責任を担っているものの、上述の首相令により事業運営自体が全て県に移管され、全国に18存在する都県の水道公社にその経営が委ねられている。

JICAは、これら水道公社の事業運営能力の向上を目的として、技術協力プロジェクト「水道公社事業管理能力向上プロジェクト」（2013年～2017年）（以下、MaWaSUプロジェクト）において、主に首都ビエンチャン、ルアンパバン県、カムアン県（以下、パイロット3県）の3水道公社の人材を中心に水道事業計画の策定強化支援を行い、対象3公社では、計画に基づく事業運営について基本的な能力を習得した。一方で、経営基盤は3公社を含むほとんどの公社において脆弱であり、設備投資・更新はドナーや民間投資による資金に大きく依存している。近年では、施設整備・運営に関する民間企業が増加しているが、これら民間企業の監督に関する法制度や事業認可制度なども整備されていない。

官民による適切な水道事業を運営する環境が整えられていない状況を踏まえ、ラオス政府は、水道行政能力の強化と水道公社の経営改善を目的として、1)中央と県の行政機関の役割を明確化し、各レベルで必要な水道行政能力の向上、2)長期・低利の資金調達システムの構築、3)民間資金活用等の官民連携システムの構築、4)パイロット3県水道公社の水道事業実施能力の更なる向上、5)上記3県で強化した水道事業実施モデルの全国展開の5つの活動を中心とした技術協力プロジェクトの実施を我が国に要請した。

JICAは、ラオスに対してこれまで様々なスキームを活用して上水道分野に対する支援を実施してきており、MaWaSUプロジェクトの終了（2017年8月）後の同分野に対する方針を検討する必要があることから、これまでの協力実績や成果、教訓を整理し、今後のラオス上水道分野への協力の方向性を導くため、「ラオス上水道セクター情報収集・確認調査」を実施した（2016年度）。同調査では、MaWaSUプロジェクト終了以降、継続的に取り組まなければならない課題として、1)持続的な経営を可能とする制度構築支援、2)核となる水道公社の更なる能力強化、3)MaWaSUプロジェクトで指導した計画に基づく事業運営方式の全国展開、の3点を新規技術協力プロジェクトの中で重点的に取り組む事項として整理し、先方政府の要請内容と合

¹ UNICEF, WHO

致することを確認した。

本詳細計画策定調査では、本プロジェクトの具体的な枠組み（到達目標及び活動内容、活動対象地域、工程、実施体制、先方政府負担事項等）について、ラオス側関係機関と協議・最終合意し、その内容を協議議事録（Minutes of Meeting、以下 M/M）として締結することを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。調査及び分析にあたっては、「途上国の都市水道セクターおよび水道事業体に対するキャパシティ・アセスメントのためのハンドブック」を参照すること。（以下、10.（2）参考資料に参照先記載。）

具体的担当事項は次のとおりとする。

（1）国内準備期間（2017年8月中旬）

- ① 要請及び本プロジェクトの背景・内容を把握（要請書、「ラオス上水道セクター情報収集・確認調査報告書」（2016年度実施）、その他関連報告書等の資料・情報の収集・分析）のうえ、現地調査で収集すべき情報及び調査計画を検討する。
- ② 担当分野の調査に必要な関係機関に対する質問票（案）（英文）を作成する。
- ③ 詳細計画策定調査報告書（案）の目次案を担当分野の観点から検討する。
- ④ 別途JICAが契約する技術コンサルタント「上水道技術」および「上水道制度/経営/財務分析」による当該分野からの助言を参考に、プロジェクトのPDM（Project Design Matrix）案、PO（Plan of Operation）案を検討する。
- ⑤ 調査団打合せ、対処方針会議等に参加する。
- ⑥ 打合せ/会議議事録を作成する。（他のコンサルタント団員が出席する会議/打ち合わせに関する議事録の作成は、コンサルタント団員内で分担・作成する。）

（2）現地業務期間（2017年9月上旬～中旬）

- ① JICAラオス事務所等との打ち合わせに参加する。
- ② 担当分野に関し、ラオス政府からの要請内容、背景情報等先方政府が考えるプロジェクトの内容について確認する。
- ③ 先方関係機関との協議及び現地調査に参加し、以下の項目に関する情報の収集、整理及び分析を行う。その際、PDMの構成や協議を意識し調査を行い、また、情報収集にあたっては、上述の「途上国の都市水道セクターおよび水道事業体に対するキャパシティ・アセスメントのためのハンドブック」に加え、「日本の水道事業の経験」のうち、特に「全体概論」、「テーマ1. 日本の水道の普及を支えた法制度と行政」、「テーマ7. 組織基盤強化」を参照すること。（以下、10.（2）参考資料に参照先記載。）

- ア) 他のコンサルタントと協力し、①社会・制度、②組織、③個人の各レベルの観点からのキャパシティ・アセスメントの実施
- イ) MaWaSUプロジェクト終了時評価後の活動の実施状況の確認、課題の整理
- ウ) MaWaSUプロジェクト終了時評価の際に行った提言の実施状況、課題の整理

エ) MaWaSUプロジェクトの上位目標の達成に向けての進捗状況、課題の整理

- ④ JICA 団員到着後、②、③の調査結果について先方政府に説明、意見交換をするワークショップの開催支援を行い、担当業務を中心に調査結果について説明する。
- ⑤ 上記②~④の結果を踏まえ、PDM（案）（和文・英文）、PO（案）（和文・英文）の修正、M/M（案）（英文）、R/D（案）（英文）及び現地調査結果報告書（和文）の作成に協力する。
- ⑥ 評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点からプロジェクトを分析、事業事前評価表（案）の作成に協力する。
- ⑦ 先方に対して、PDMの構成（項目の関連性やモニタリング指標）、POについて説明する。
- ⑧ 本プロジェクトの協力計画に関する協議に参加し、支援する。
- ⑨ 他のコンサルタントと協力しながら、会議議事録を作成する。
- ⑩ 担当分野に係る現地調査結果を JICA ラオス事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間（2017年9月中旬～10月上旬）

- ① 帰国報告会に出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ② 会議議事録を作成する。
- ③ 収集資料を整理・分析する(収集資料リスト作成、質問票回答の取りまとめ等)。
- ④ 本プロジェクト協力対象となる実施機関に関するリスク管理チェックシート、水道事業体基本情報チェックシートを作成する。別途、様式はJICAから提供する。
- ⑤ 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)(和文)を作成する。
- ⑥ 事業事前評価表（案）（和文）作成に協力する。

※リスク管理チェックシートはプロジェクト実施の際に想定されるリスクを把握し、それに係る対応策を抽出することで、具体的なリスク回避・リスク軽減のアクションにつなげることを目的としています。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

- (1) 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）（収集資料、主要な会議の議事録を含む）
電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。
航空経路は、成田/羽田⇄バンコク/ハノイ⇄ビエンチャンを標準とします。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2017年9月3日～2017年9月16日を予定しています。

本業務従事者は、JICAの調査団員と同日もしくは数日先行して現地調査の開始を予定しています。また、数日前には、JICAが別途契約する技術コンサルタント2名が現地調査を実施している予定です。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括 (JICA)

イ) 上水道計画 (JICA)

ウ) 協力企画 (JICA)

エ) 自治体連携 (日本の水道事業体、最大4事業体から1名ずつ参团する可能性があります。)

オ) 上水道技術 (JICAが別途契約するコンサルタント)

カ) 上水道制度/経営/財務分析 (JICAが別途契約するコンサルタント)

キ) 評価分析 (本コンサルタント)

③便宜供与内容

JICAラオス事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供 (JICA 職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。) 但し、ビエンチャン⇄ルアンパバンの移動に要する航空券は、本コンサルタントで手配することとし、見積もりに含めてください。なお、利用可能な航空会社は、安全管理上、ラオス航空のみとしてください。

エ) 通訳備上

英語⇄ラオス語の通訳を提供

オ) 現地日程のアレンジ

JICA が必要に応じアレンジします。なお、JICA 団員到着前の関係機関へのアレンジについては、コンサルタントによるアポイント取り付けが必要となる場合があります。

カ) 執務スペースの提供

なし

(2) 参考資料

① 配布資料

以下の資料は JICA 地球環境部水資源グループ水資源第一チームにて配布します。希望される方は、「参考資料の配布依頼（本業務名）」を件名とし、代表アドレス (gegwt@jica.go.jp) までご連絡ください。

ア) 要請書

イ) 「ラオス上水道セクター情報収集・確認調査報告書」(JICA) (2017年2月)

ウ) 「ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト」 終了時評価調査報告書 (JICA) (2017年3月)

エ) 「水道事業の民間活用に関するプロジェクト研究」(最終報告書) (JICA) (2017年6月)

② 公開資料

本業務に関する以下の資料は、JICA 図書館や JICA ナレッジサイトのウェブページで公開されています。

ア) MaWaSU プロジェクト関連

●事前評価表

https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2012_1100189_1_s.pdf

●評価調査結果要約表（中間レビュー）

https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2014_1100189_2_s.pdf

●中間レビュー報告書

<http://libopac.jica.go.jp/detail?bbid=1000022015>

●その他、関連文書

<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWALL/CFCCB30E1349707C49257A010079EA74>

イ) 「ルアンパバーン地域開発情報収集・確認調査」最終報告書

http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12268017_01.pdf

ウ) 「ラオス国タケク上水道拡張計画」準備調査報告書

http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12085999_01.pdf

エ) 「途上国の都市水道セクターおよび水道事業体に対するキャパシティ・アセスメントのためのハンドブック」

[http://gwwweb.jica.go.jp/km/FSubject0301.nsf/3b8a2d403517ae4549256f2d002e1dcc/8637828c6feb7f1b4925776d002bdf27/\\$FILE/1_%E3%83%8F%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF\(%E6%9C%AC%E7%B7%A8\).pdf](http://gwwweb.jica.go.jp/km/FSubject0301.nsf/3b8a2d403517ae4549256f2d002e1dcc/8637828c6feb7f1b4925776d002bdf27/$FILE/1_%E3%83%8F%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF(%E6%9C%AC%E7%B7%A8).pdf)

オ) 「日本の水道事業の経験」

<http://gwwweb.jica.go.jp/km/FSubject0301.nsf/3b8a2d403517ae4549256f2d002e1dcc/58841dbf2f9a88d94925810c00270b4c?OpenDocument>

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②現地作業期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA ラオス事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地作業の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地作業中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。なお、現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者を登録してください。
- ③本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談してください。

以上